

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	4年6カ月間（2014年7月31日～2019年1月30日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2019-01≫の受益証券 ロ. ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2019-01≫	ブラジル・レアル建てのブラジル国債
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「不動産投資信託証券」といいます。）
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、ブラジル・レアル建てのブラジル国債およびわが国の不動産投資信託証券（リート）に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②設定当初のブラジル国債と不動産投資信託証券への投資比率はおおむね7：3とします。その後、為替や不動産投資信託証券の値動き等により投資比率は日々変動します。</p> <p>③ブラジル国債の運用にあたっては、償還日が当ファンドの信託期間終了日に近い銘柄を中心に投資します。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2019-01≫の株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

成果リレー  
(ブラジル国債&J-REIT)  
2014-07

運用報告書（全体版）  
第4期  
(決算日 2018年7月30日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「成果リレー（ブラジル国債 & J-REIT）2014-07」は、このたび、第4期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			東証REIT指数 (配当込み)		ブラジル・リアル為替レート		公社債 組入比率	投資信託証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
1期末(2015年7月30日)	円 9,429	円 0	% △ 5.7	3,081.26	% 12.1	円 37.25	% △18.6	% 62.9	% 34.5	百万円 1,287
2期末(2016年8月1日)	9,527	0	1.0	3,360.24	9.1	31.52	△15.4	61.1	35.6	493
3期末(2017年7月31日)	11,050	10	16.1	3,220.02	△ 4.2	35.23	11.8	66.4	30.6	264
4期末(2018年7月30日)	10,518	0	△ 4.8	3,425.61	6.4	29.92	△15.1	60.9	33.7	162

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

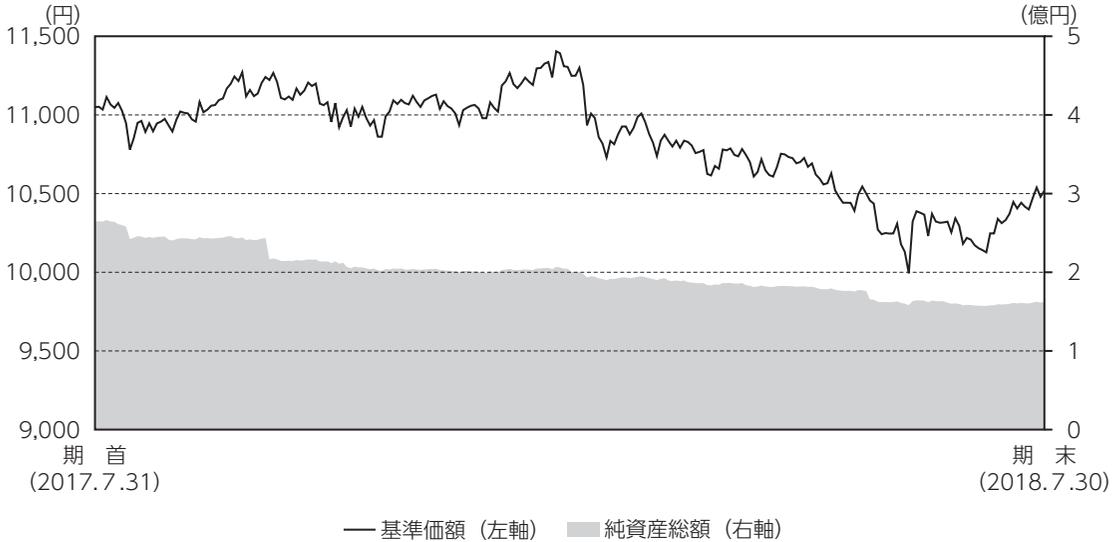
(注3) 公社債および投資信託証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：11,050円  
 期末：10,518円  
 騰落率：△4.8%

#### ■ 組入ファンドの当期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2019-01》	△8.3%	64.9%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	7.2%	34.3%

#### ■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、ブラジル・リアル建てのブラジル国債およびわが国のリートに投資した結果、為替相場において円高ブラジル・リアル安が進んだことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

成果リレー（ブラジル国債& J-R E I T）2014-07

年 月 日	基 準 価 額		東証REIT指数 (配当込み)		ブラジル・リアル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託証券 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2017年 7月31日	円 11,050	% -	3,220.02	% -	円 35.23	% -	% 66.4	% 30.6
8月末	11,022	△0.3	3,188.63	△1.0	34.94	△ 0.8	66.5	29.8
9月末	11,136	0.8	3,139.87	△2.5	35.39	0.5	66.7	29.7
10月末	10,922	△1.2	3,099.44	△3.7	34.47	△ 2.2	66.2	29.8
11月末	11,082	0.3	3,189.89	△0.9	34.53	△ 2.0	64.4	30.2
12月末	11,021	△0.3	3,189.59	△0.9	34.07	△ 3.3	64.0	30.0
2018年 1月末	11,248	1.8	3,357.09	4.3	34.20	△ 2.9	63.5	31.2
2月末	10,954	△0.9	3,291.44	2.2	33.02	△ 6.3	65.5	31.3
3月末	10,775	△2.5	3,274.92	1.7	32.13	△ 8.8	65.2	31.5
4月末	10,727	△2.9	3,358.59	4.3	31.43	△10.8	63.5	32.3
5月末	10,249	△7.2	3,379.45	5.0	29.17	△17.2	61.7	34.1
6月末	10,219	△7.5	3,450.92	7.2	28.61	△18.8	59.9	35.0
(期末) 2018年 7月30日	10,518	△4.8	3,425.61	6.4	29.92	△15.1	60.9	33.7

(注) 騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2017.8.1～2018.7.30)

**■ブラジル債券市況**

ブラジルの長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。期首から、インフレ率の鈍化および中央銀行による利下げを背景に、長期金利は低下しました。2017年末にかけては、米国の金利上昇や年金改革法案の成立をめぐる懸念により、長期金利は上昇しました。2018年に入ってから、ルラ元大統領の控訴審の結果（第一審の有罪判決が覆らず）や中央銀行による追加利下げで、長期金利は低下しました。4月以降は、大統領選挙の不透明感や米ドル高を受けた新興国からの資金流出への懸念を背景に長期金利が上昇し、5月末にかけて行なわれたトラック運転手らによるストライキも加わり、金利上昇が加速しました。期末にかけては、金融市場に高く評価される中道派のアルキミン氏が主要政党の支持を確保したことなどでリスク回避姿勢が後退したことから、金利は低下しました。

**■Jリート市況**

Jリート市況は、期首より、海外を中心に中期的な金利上昇への警戒感が残っていることや、海外投資家および国内リートに投資する投資信託からの資金流出などを背景に、下落基調で推移しました。2017年11月中旬には、自己投資口取得やリート同士の合併の発表などを材料に、上昇に転じました。2018年に入ると、事業環境が良好なことから国内外投資家からの資金が継続的に流入したことなどから、好調な推移となりました。しかし2月には、米国長期金利が急上昇したことなどをを受けて国内外で株式市場が下落する中で、国内リート市場も下落しました。3月以降は、オフィス市況など事業環境の良好さが継続していることや日本の長期金利が低位安定推移となったことに加え、リスク資産から逃避した資金の流入などを背景に上昇し、期末を迎えました。

**■為替相場**

ブラジル・リアルは対円で下落しました。2017年後半のリアルは、米朝対立で地政学的に緊張した局面や、米国の税制改革進展への期待感により米ドル独歩高となった局面では売られましたが、好調な株価に支えられ、おおむね横ばい圏で推移しました。2018年に入ってから、世界的な株価下落の中で、市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まったことや、国内の景気悪化懸念および政治の不透明感などがリアルの下落圧力となりました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>」および「ダイワ J-R E I T アクティブ・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建てのブラジル国債およびわが国のリートに投資を行ないます。期中の解約に対しては、各マザーファンドの売却前の投資比率を維持するように対応する方針です。

### ■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2019年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

### ■ダイワ J-R E I T アクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ J リートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。国内外の景況感や金利動向に加えて、地政学リスクなど先行き不透明感が強いいため、成長戦略やバリュエーションなどを切り口に個別銘柄ごとの選別を重視した運用を進めていく方針です。

## ポートフォリオについて

(2017.8.1~2018.7.30)

### ■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>」および「ダイワ J-R E I T アクティブ・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建てのブラジル国債およびわが国のリートに投資を行ないました。期中の解約に対しては、各マザーファンドの売却前の投資比率を維持するように対応しました。

### ■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>

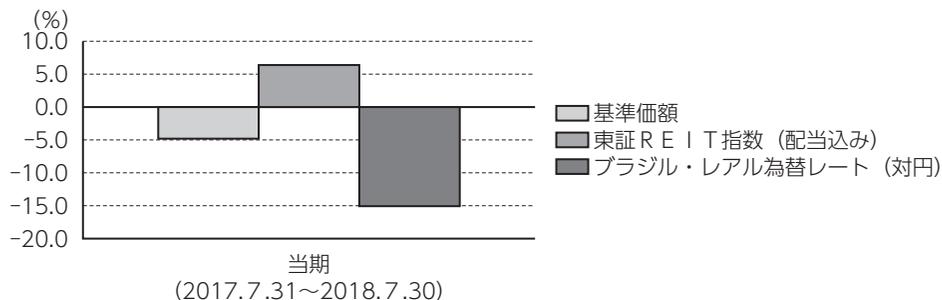
償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2019年1月償還）を保有しました。

### ■ダイワ J-R E I T アクティブ・マザーファンド

リートの組入比率につきましては、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、おおむね95~98%台程度で推移させました。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、期を通じてみると、森ヒルズリート、日本リート、ジャパンリアルエステイトなどを東証 R E I T 指数と比較してオーバーウエートとし、ユナイテッド・アーバン、日本ロジスティクスファンド、日本リテールファンド等をアンダーウエートとしました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を行いませんでした。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年8月1日 ～2018年7月30日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	2,291	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>」および「ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建てのブラジル国債およびわが国のリートに投資を行ないます。期中の解約に対しては、各マザーファンドの売却前の投資比率を維持するように対応する方針です。

### ■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2019年1月償還）の保有を継続します。

### ■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。ポートフォリオ構築にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2017.8.1~2018.7.30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	158円	1.454%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,836円です。
（投 信 会 社）	(70)	(0.646)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(82)	(0.754)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(6)	(0.054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投 資 信 託 証 券）	(2)	(0.015)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	13	0.123	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(12)	(0.113)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	172	1.592	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2017年8月1日から2018年7月30日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイウ・ブラジル国債 マザーファンド<<2019-01>>	-	-	57,123	63,729
ダイウJ-R E I Tアクティブ・ マザーファンド	-	-	13,563	31,619

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイウ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>における期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(3) ダイウJ-R E I Tアクティブ・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2017年8月1日から2018年7月30日まで)

決 算 期	当 期						
	買付額等 A		うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C		うち利害 関係人との 取引状況D
投資信託証券	百万円 38,701	百万円 5,209			% 13.5	百万円 23,602	
コール・ローン	315,105	-	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(4) 利害関係人の発行する有価証券等

(2017年8月1日から2018年7月30日まで)

種 類	当 期		
	買 付 額	売 付 額	期 末 保 有 額
投資信託証券	百万円 217	百万円 -	百万円 1,749

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(5) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となつて発行される有価証券

(2017年8月1日から2018年7月30日まで)

種 類	当 期	
	買 付 額	評 価 額
投資信託証券	百万円 2,887	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(6) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2017年8月1日から2018年7月30日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	29千円
うち利害関係人への支払額 (B)	8千円
(B)/(A)	29.3%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券、大和証券オフィス投資法人です。

■組入資産明細表  
親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
ダイウ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>	千口 159,420	千口 102,296	千円 105,232			
ダイウJ-R E I Tアクティブ・マザーファンド	35,826	22,262	55,565			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年7月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ダイウ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>	千円 105,232	% 64.4
ダイウJ-R E I Tアクティブ・マザーファンド	55,565	34.0
コール・ローン等、その他	2,682	1.6
投資信託財産総額	163,479	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月30日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=29.92円です。

(注3) ダイウ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>において、当期末における外貨建純資産(241,635千円)の投資信託財産総額(243,678千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年7月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	163,479,428円
コール・ローン等	2,682,197
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド «2019-01»(評価額)	105,232,033
ダイワJ-R E I Tアクティブ・ マザーファンド(評価額)	55,565,198
(B) 負債	1,279,072
未払信託報酬	1,272,047
その他未払費用	7,025
(C) 純資産総額(A - B)	162,200,356
元本	154,209,827
次期繰越損益金	7,990,529
(D) 受益権総口数	154,209,827口
1万口当り基準価額(C / D)	10,518円

\*期首における元本額は239,668,419円、当中における追加設定元本額は0円、  
同解約元本額は85,458,592円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,518円です。

■損益の状況

当期 自2017年8月1日 至2018年7月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,147円
受取利息	197
支払利息	△ 1,344
(B) 有価証券売買損益	△ 5,295,827
売買益	6,228,103
売買損	△11,523,930
(C) 信託報酬等	△ 2,910,228
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 8,207,202
(E) 前期繰越損益金	16,378,150
(F) 追加信託差損益金	△ 180,419
(配当等相当額)	( 95,720)
(売買損益相当額)	(△ 276,139)
(G) 合計(D + E + F)	7,990,529
次期繰越損益金(G)	7,990,529
追加信託差損益金	△ 180,419
(配当等相当額)	( 95,720)
(売買損益相当額)	(△ 276,139)
分配準備積立金	35,238,485
繰越損益金	△27,067,537

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,436,608円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	95,720
(d) 分配準備積立金	25,801,877
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	35,334,205
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	35,334,205
(h) 受益権総口数	154,209,827口

<補足情報>

当ファンド（成果リレー（ブラジル国債&Ｊ－ＲＥＩＴ）2014-07）が投資対象としている「ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド」の決算日（2018年5月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年7月30日）現在におけるダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンドの組入資産の内容等を11ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンドの主要な売買銘柄  
投資信託証券

(2017年8月1日から2018年7月30日まで)

買				売			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
ジャパンリアルエステイト	7,499	4,164,267	555,309	日本ビルファンド	5,827	3,367,399	577,895
大和ハウスリート投資法人	9,645	2,434,140	252,373	ＧＬＰ投資法人	12,602	1,582,499	125,575
野村不動産マスターＦ	15,127	2,149,779	142,115	コンフォリア・レジデンシャル	5,069	1,279,967	252,508
日本プロロジスリート	7,899	1,921,563	243,266	日本ロジスティクスファンド投資法人	5,403	1,173,475	217,189
日本リテールファンド	8,606	1,718,468	199,682	ジャパンエクセレント投資法人	8,196	1,170,110	142,765
インヴィンシブル投資法人	34,459	1,643,660	47,699	イオンリート投資	9,465	1,154,924	122,020
インペスコ・オフィス・Jリート	46,376	1,252,234	27,001	野村不動産マスターＦ	7,61	1,147,689	150,813
ヒューリックリート投資法	7,341	1,207,922	164,544	ジャパン・ホテル・リート投資法人	13,171	1,087,131	82,539
プレミアム投資法人	11,345	1,204,086	106,133	産業ファンド	5,233	1,077,284	205,863
日本プライムリアルティ	3,129	1,197,406	382,680	ケネディクス・オフィス投資法人	1,517	1,045,937	689,477

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2018年7月30日現在におけるダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド（40,843,110千口）の内容です。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	2018年7月30日現在			
	口数	評価額	比率	率
	千口	千円		%
<b>不動産投信</b>				
日本アコモデーションファンド投資法人	3,179	1,649,901		1.6
MCUBS MidCity投資法人	20,805	1,658,158		1.6
森ビルズリート	22,201	3,061,517		3.0
産業ファンド	7,539	901,664		0.9
アドバンス・レジデンス	8,448	2,460,896		2.4
ケネディクス・レジデンシャル・ネスト投資法人	8,448	1,406,592		1.4
API投資法人	6,059	2,990,116		2.9
GLP投資法人	14,491	1,746,165		1.7
コンフォリア・レジデンシャル	3,439	884,854		0.9
日本プロロジスリート	20,899	4,689,735		4.6
星野リゾート・リート	2,801	1,588,167		1.6
イオンリート投資	8,554	1,038,455		1.0
ヒューリックリート投資法	14,341	2,448,008		2.4
日本リート投資法人	7,536	2,592,384		2.5
インペスコ・オフィス・Jリート	111,189	1,725,653		1.7
日本ヘルスケア投資法	0,395	64,898		0.1
積水ハウス・リート投資	31,843	2,295,880		2.3
ケネディクス商業リート	7,264	1,770,236		1.7
ヘルスケア&メディカル投資	1,801	207,835		0.2
野村不動産マスターＦ	37,517	5,796,376		5.7
ラザールロジポート投資	13,367	1,436,952		1.4
三井不動産パーク	3,045	975,922		1.0
大江戸温泉リート	9,864	834,494		0.8
投資法人みらい	4,097	793,588		0.8
森トラスト・ホテルリート投	1,697	257,095		0.3
三菱地所物流REIT	3,908	1,043,436		1.0
CREロジスティクスファンド	4,613	508,352		0.5
ザイマックス・リート	8,591	967,346		0.9

ファンド名	2018年7月30日現在			
	口数	評価額	比率	率
	千口	千円		%
日本ビルファンド	6,993	4,265,730		4.2
ジャパンリアルエステイト	16,189	9,260,108		9.1
日本リテールファンド	23,606	4,749,527		4.7
オリックス不動産投資	21,199	3,620,789		3.6
日本プライムリアルティ	6,566	2,547,608		2.5
プレミアム投資法人	17,345	1,958,250		1.9
グローバル・ワン不動産投資法人	4,504	499,944		0.5
ユナイテッド・アーバン投資法人	16,96	2,883,200		2.8
森トラスト総合リート	7,939	1,267,064		1.2
インヴィンシブル投資法人	49,459	2,472,950		2.4
フロンティア不動産投資	4,551	2,027,470		2.0
平和不動産リート	1,165	123,373		0.1
日本ロジスティクスファンド投資法人	0,751	162,516		0.2
福岡リート投資法人	5,527	948,985		0.9
ケネディクス・オフィス投資法人	3,446	2,301,928		2.3
いちごオフィスリート投資法人	10,84	986,440		1.0
大和証券オフィス投資法人	2,58	1,749,240		1.7
阪急リート投資法人	1,068	142,044		0.1
スターツプロシード投資法人	4,455	741,757		0.7
大和ハウスリート投資法人	19,42	5,354,094		5.3
ジャパン・ホテル・リート投資法人	28,157	2,275,085		2.2
日本賃貸住宅投資法人	18,497	1,659,180		1.6
ジャパンエクセレント投資法人	4,524	637,884		0.6
合計	663,704	100,429,858		
	口数、金額	51銘柄		<98.5%>

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2019-01》

運用報告書 第4期（決算日 2018年7月30日）

（計算期間 2017年8月1日～2018年7月30日）

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2019-01》の第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
運用方法	①主として、ブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②ブラジル国債の運用にあたっては、償還日が当ファンドの信託期間終了日に近い銘柄を中心に投資します。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

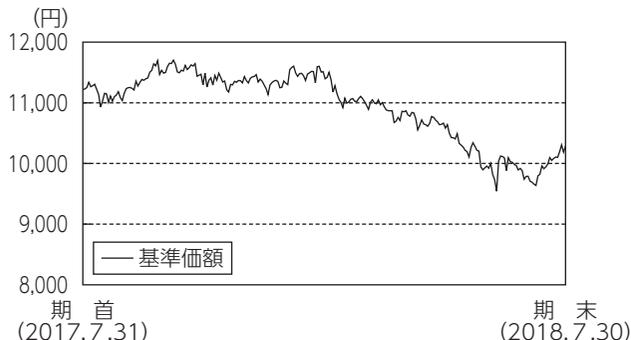
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		ブラジル・レアル為替レート (参考指数)		公 社 債 組入比率
	円	騰落率	円	騰落率	
(期首)2017年 7月31日	11,212	-	35.23	-	98.4
8 月末	11,233	0.2	34.94	△ 0.8	97.9
9 月末	11,501	2.6	35.39	0.5	97.1
10 月末	11,260	0.4	34.47	△ 2.2	96.4
11 月末	11,366	1.4	34.53	△ 2.0	94.3
12 月末	11,299	0.8	34.07	△ 3.3	93.7
2018年 1 月末	11,396	1.6	34.20	△ 2.9	94.5
2 月末	11,069	△ 1.3	33.02	△ 6.3	97.4
3 月末	10,852	△ 3.2	32.13	△ 8.8	97.5
4 月末	10,665	△ 4.9	31.43	△ 10.8	96.0
5 月末	9,927	△ 11.5	29.17	△ 17.2	95.9
6 月末	9,787	△ 12.7	28.61	△ 18.8	94.2
(期末)2018年 7月30日	10,287	△ 8.3	29.92	△ 15.1	93.8

(注1) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,212円 期末：10,287円 騰落率：△8.3%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入は基準価額のプラス要因になりましたが、債券価格の下落やブラジル・レアルが対円で下落したことにより、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

長期金利は上昇し、短期金利は小幅に低下しました。

ブラジルの長期金利は上昇(債券価格は下落)しました。期首から、インフレ率の鈍化および中央銀行による利下げを背景に、長期金利は低下しました。2017年末にかけては、米国の金利上昇や年金改革法案の成立をめぐる懸念により、長期金利は上昇しました。2018年に入ってからは、ルラ元大統領の控訴審の結果(第一審の有罪判決が覆らず)や中央銀行による追加利下げで、長期金利は低下しました。4月以降は、大統領選挙の不透明感や米ドル高を受けた新興国からの資金流出への懸念を背景に長期金利が上昇し、5月

末にかけて行なわれたトラック運転手らによるストライキも加わり、金利上昇が加速しました。期末にかけては、金融市場に高く評価される中道派のアルキミン氏が主要政党の支持を確保したことなどでリスク回避姿勢が後退したことから、金利は低下しました。

○為替相場(ブラジル・レアル)

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

2017年後半のレアルは、米朝対立で地政学的に緊張した局面や、米国の税制改革進展への期待感により米ドル独歩高となった局面では売られましたが、好調な株値に支えられ、おおむね横ばい圏で推移しました。2018年に入ってからは、世界的な株値下落の中で、市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まったことや、国内の景気悪化懸念および政治の不透明感などがレアルの下落圧力となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債(クーポン10%、2019年1月償還)の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

◆ポートフォリオについて

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債(クーポン10%、2019年1月償還)を保有しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債(クーポン10%、2019年1月償還)の保有を継続します。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	19 (18)
(その他)	( 0)
合 計	19

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2017年8月1日から2018年7月30日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル —	千ブラジル・レアル 3,337 ( —)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年8月1日から2018年7月30日まで)

当			期		
買	付	金 額	売	付	金 額
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F(ブラジル)	10% 2019/1/1	111,356

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当	期				末			
		額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ブラジル	千ブラジル・レアル 7,540	千ブラジル・レアル 7,640	千円 228,617	% 93.8	% —	% —	% —	% 93.8	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘	柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
						千円	千円	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F		国 債 証 券	10.0000	千ブラジル・レアル 7,540	千ブラジル・レアル 7,640	千円 228,617	2019/01/01

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2019-01>>

## ■投資信託財産の構成

2018年7月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	228,617	93.8
コール・ローン等、その他	15,060	6.2
投資信託財産総額	243,678	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月30日における邦貨換算レートは、1ブラジル・リアル=29.92円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(241,635千円)の投資信託財産総額(243,678千円)に対する比率は、99.2%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年7月30日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>243,678,291円</b>
コール・ローン等	13,268,343
公社債(評価額)	228,617,541
未収利息	1,792,407
<b>(B) 負債</b>	<b>10,840</b>
その他未払費用	10,840
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>243,667,451</b>
元本	236,867,538
次期繰越損益金	6,799,913
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>236,867,538口</b>
1万口当り基準価額(C / D)	10,287円

\*期首における元本額は353,300,213円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は116,432,675円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、成果リレー(ブラジル国債&J-R E I T)2014-07 102,296,134円、成果リレー(ブラジル国債&J-R E I T)2014-08 134,571,404円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,287円です。

## ■損益の状況

当期 自2017年8月1日 至2018年7月30日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>25,660,953円</b>
受取利息	25,662,131
支払利息	△ 1,178
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△47,903,539</b>
売買益	565,532
売買損	△48,469,071
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 523,862</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>△22,766,448</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>42,826,686</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△13,260,325</b>
<b>(G) 合計(D + E + F)</b>	<b>6,799,913</b>
次期繰越損益金(G)	6,799,913

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

# ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド

## 運用報告書 第25期（決算日 2018年5月10日）

（計算期間 2017年11月11日～2018年5月10日）

ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンドの第25期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「不動産投資信託証券」といいます。）
運用方法	①わが国の金融商品取引所上場の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下の方針に従って行なうことを基本とします。 イ．個別銘柄の投資価値を分析して、銘柄ごとの配当利回り、期待される成長性、相対的な割安度などを勘案し投資銘柄を選定します。 ロ．個別銘柄の組入不動産の種類等を考慮します。 ③不動産投資信託証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とします。
投資信託証券組入制限	無制限

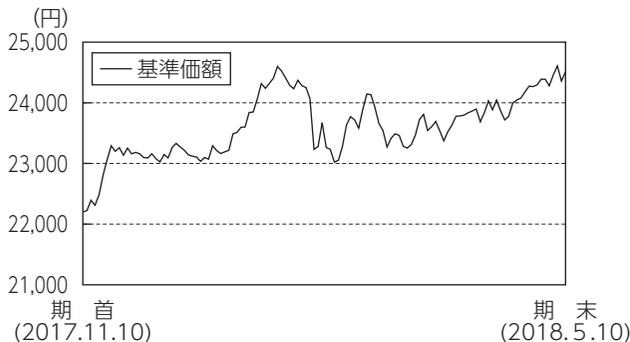
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		東証REIT指数(配当込み)		投資信託
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2017年11月10日	円 22,201	% -	3,055.50	% -	% 96.1
11月末	23,183	4.4	3,189.89	4.4	98.3
12月末	23,163	4.3	3,189.59	4.4	97.7
2018年1月末	24,371	9.8	3,357.09	9.9	98.2
2月末	23,929	7.8	3,291.44	7.7	98.2
3月末	23,783	7.1	3,274.92	7.2	98.1
4月末	24,388	9.9	3,358.59	9.9	98.1
(期末)2018年5月10日	24,513	10.4	3,376.04	10.5	98.8

(注) 騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：22,201円 期末：24,513円 騰落率：10.4%

【基準価額の主な変動要因】

事業環境の良好さに比して割安感があるＪリート市場に注目が集まったことなどを背景にＪリート市況が上昇したことにより、基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○Ｊリート（不動産投信）市況

Ｊリート市況は、期首より、自己投資口取得やリート同士の合併の発表を背景に、上昇基調で始まりました。2017年11月中旬以降は横ばいで推移しましたが、2018年1月は事業環境の良好さに比して割安感があるＪリート市場に注目が集まったことを受けて上昇しました。しかし2月には、米国の長期金利が上昇したことなどを背景に市況は下落基調に転じました。4月以降は、オフィス市況など事業環境の良好さが継続していることや日本の長期金利が低位安定推移となったことなどを背景に上昇し、期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつＪリートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

◆ポートフォリオについて

リートの組入比率につきましては、通常の状態 で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、おおむね95～98%台程度で推移させました。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。期を通じてみると、森ヒルズリート、野村不動産マスターファンド、日本リートなどを東証REIT指数と比較してオーバーウエートとし、ユナイテッド・アーバン、日本リテールファンド、日本ロジスティクスファンド等をアンダーウエートとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドは、参考指数として東証REIT指数（配当込み）を用いています。前期における参考指数の騰落率は10.5%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は10.4%となりました。

投資口価格のパフォーマンスが参考指数を下回ったG L Pや日本リテールファンドなどをアンダーウエートとしていたことや、投資口価格のパフォーマンスが参考指数を上回ったケネディクス・オフィスや積水ハウス・リートのオーバーウエートが、プラスに寄与しました。他方、投資口価格のパフォーマンスが参考指数を上回った日本ビルファンドをアンダーウエートとしていたことや、投資口価格のパフォーマンスが参考指数を下回った日本プロロジスリートや大江戸温泉リートのオーバーウエートなどが、マイナス要因となりました。

《今後の運用方針》

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつＪリートに幅広く分散投資を行ない、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (投資信託証券)	4円 (4)
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	4

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

投資信託証券

(2017年11月11日から2018年5月10日まで)

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
国内	282.3661	21,130,342	76.8 (-)	11,666,759 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託証券

(2017年11月11日から2018年5月10日まで)

当				期			
買	付			売	付		
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
ジャパンリアルエステイト	5.26	2,889,760	549,384	日本ビルファンド	4.877	2,766,889	567,334
大和ハウスリート投資法人	6.84	1,689,873	247,057	GLP投資法人	11.279	1,421,268	126,010
野村不動産マスターF	10.735	1,531,487	142,662	ケネディクス・オフィス投資法人	1.517	1,045,937	689,477
日本プロロジスリート	5.678	1,405,978	247,618	Oneリート投資法人	3.52	875,402	248,693
日本プライムリアルティ	3.07	1,174,549	382,589	コンフォリア・レジデンシャル	2.998	744,161	248,219
フロンティア不動産投資	2.195	964,769	439,530	積水ハウス・リート投資	5.062	731,578	144,523
インベスコ・オフィス・Jリート	42.354	821,268	19,390	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	2.026	647,066	319,381
ザイマックス・リート	7.508	816,505	108,751	ジャパンエクセレント投資法人	3.3	465,601	141,091
GLP投資法人	7.093	805,566	113,572	インベスコ・オフィス・Jリート	27.814	421,793	15,164
MCUBS MidCity投資法人	10.069	790,884	78,546	日本ロジスティクスファンド投資法人	1.903	413,119	217,088

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期			比率
	口数	評価額	比率	
	千口	千円	%	
不動産投信				
日本アコモデーションファンド投資法人	3.179	1,529,099	1.5	
MCUBS MidCity投資法人	20.805	1,726,815	1.7	
森ビルズリート	21.092	2,954,989	2.9	
産業ファンド	11.558	1,400,829	1.4	
アドバンス・レジデンス	8.48	2,399,840	2.4	
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	8.158	1,308,543	1.3	
API投資法人	6.914	3,356,747	3.3	
GLP投資法人	15.814	1,870,796	1.9	
コンフォリア・レジデンシャル	5.51	1,387,418	1.4	
日本プロロジスリート	20.899	4,829,758	4.8	
星野リゾート・リート	1.059	569,742	0.6	
Oneリート投資法人	0.613	151,349	0.2	
イオンリート投資	16.519	1,927,767	1.9	
ヒューリックリート投資法	11.798	1,967,906	2.0	
日本リート投資法人	5.982	1,986,024	2.0	
インベスコ・オフィス・Jリート	111.194	1,544,484	1.5	
積水ハウス・リート投資	31.8431	2,213,095	2.2	

ファンド名	当期			比率
	口数	評価額	比率	
	千口	千円	%	
ケネディクス商業リート	7.264	1,674,352	1.7	
ヘルスケア&メディカル投資	1.783	190,424	0.2	
野村不動産マスターF	42.942	6,634,539	6.6	
ラサールロジポート投資	15.782	1,751,802	1.7	
三井不動産パーク	0.1	34,950	0.0	
大江戸温泉リート	9.864	897,624	0.9	
投資法人みらい	5.3	970,960	1.0	
森トラスト・ホテルリート投	1.029	149,205	0.1	
三菱地所物流REIT	3.908	1,061,022	1.1	
CREロジスティクスファンド	3.835	441,792	0.4	
ザイマックス・リート	7.508	873,931	0.9	
日本ビルファンド	7.943	4,940,546	4.9	
ジャパンリアルエステイト	14.45	8,207,600	8.2	
日本リテールファンド	15.272	3,142,977	3.1	
オリックス不動産投資	21.199	3,637,748	3.6	
日本プライムリアルティ	7.129	2,880,116	2.9	
プレミアム投資法人	11.573	1,249,884	1.2	

ファン ド 名	当 期		末	
	口 数	評 価 額	口 数	比 率
	千口	千円		%
グローバル・ワン不動産投資法人	2,196	237,168		0.2
ユナイテッド・アーバン投資法人	16,96	2,927,296		2.9
森トラスト総合リート	7,939	1,285,324		1.3
インヴィンシブル投資法人	41,337	2,066,850		2.1
フロンティア不動産投資	5,493	2,485,582		2.5
平和不動産リート	9,724	1,052,136		1.0
日本ロジスティクスファンド投資法人	0,751	168,975		0.2
福岡リート投資法人	5,527	950,644		0.9
ケネディクス・オフィス投資法人	3,446	2,305,374		2.3
いちごオフィスリート投資法人	10,84	904,056		0.9
大和証券オフィス投資法人	2,58	1,627,980		1.6
阪急リート投資法人	1,068	149,733		0.1
スターアップロシード投資法人	3,586	586,669		0.6
大和ハウスリート投資法人	16,777	4,388,863		4.4
ジャパン・ホテル・リート投資法人	39,681	3,226,065		3.2
日本賃貸住宅投資法人	18,497	1,585,192		1.6
ジャパンエクセレント投資法人	9,42	1,339,524		1.3
合 計	口 数、金額	674,1201	99,152,114	
	銘柄数<比率>	51銘柄	<98.8%>	

※AP I 投資法人、GLP 投資法人、コンフォリア・レジデンシャル、日本プロロジスリート、イオンリート投資、ヒューリックリート投資法人、積水ハウス・リート投資、ケネディクス商業リート、三井不動産リート、三菱地所物流REIT、CREOロジスティクスファンド、ジャパンリアルエステイト、日本リテールファンド、オリックス不動産投資、日本プライムリアルティ、グローバル・ワン不動産投資法人、ユナイテッド・アーバン投資法人、平和不動産リート、日本ロジスティクスファンド投資法人、ケネディクス・オフィス投資法人、いちごオフィスリート投資法人、大和証券オフィス投資法人、阪急リート投資法人、大和ハウスリート投資法人、ジャパン・ホテル・リート投資法人、日本賃貸住宅投資法人につきましては、各ファンドで開示されている直近の有価証券報告書または有価証券届出書において、当社の利害関係人等（投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている法人等をいいます。）である大和証券、大和リアル・エステート・アセット・マネジメント、ミカサ・アセット・マネジメントが当該ファンドの運用会社または一般事務受託会社となっています。

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2018年5月10日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
		千円		%
投資信託証券	99,152,114		98.5	
コール・ローン等、その他	1,475,722		1.5	
投資信託財産総額	100,627,836		100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月10日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	100,627,836,505円	
コール・ローン等		233,561,513
投資信託証券(評価額)		99,152,114,210
未収入金		284,386,491
未収配当金		957,774,291
(B) 負債	224,472,091	
未払金		172,582,514
未払解約金		51,880,000
その他未払費用		9,577
(C) 純資産総額(A - B)	100,403,364,414	
元本		40,959,538,988
次期繰越損益金		59,443,825,426
(D) 受益権総口数	40,959,538,988口	
1万口当り基準価額(C/D)		24,513円

\* 期首における元本額は38,617,427,276円、当期中における追加設定元本額は3,337,346,221円、同解約元本額は995,234,509円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)19,497,515円、インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)18,104,325円、成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)94,524,568円、6資産バランスファンド(分配型)156,326,786円、6資産バランスファンド(成長型)348,331,854円、世界6資産均等分散ファンド(毎月分配型)49,732,466円、「しがぎん」SRI三資産バランス・オープン(奇数月分配型)2,168,207円、ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月分配型)56,400,862円、成果リレー(ブラジル国債&J-REIT)2014-0724,440,945円、成果リレー(ブラジル国債&J-REIT)2014-0829,605,887円、DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/安定コース)198,906,042円、DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/6分散コース)268,247,027円、DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/成長コース)331,515,561円、DCダイワJ-REITアクティブファンド359,168,025円、ダイワファンドラップJ-REITセレクト37,969,917,345円、ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(成長型)124,539,025円、ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(安定型)41,575,161円、ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(分配型)197,588,628円、ダイワ・アクティブJリート・ファンド(年4回決算型)668,948,759円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は24,513円です。

### ■損益の状況

当期 自2017年11月11日 至2018年5月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,943,375,612円
受取配当金	1,915,461,059
その他収益金	28,288,657
支払利息	△ 374,104
(B) 有価証券売買損益	7,258,752,443
売買益	7,411,897,952
売買損	△ 153,145,509
(C) その他費用	△ 11,989
(D) 当期損益金(A + B + C)	9,202,116,066
(E) 前期繰越損益金	47,117,350,072
(F) 解約差損益金	△ 1,377,375,491
(G) 追加信託差損益金	4,501,734,779
(H) 合計(D + E + F + G)	59,443,825,426
次期繰越損益金(H)	59,443,825,426

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。